

小学校社会科学学習指導案

指導者 熊野町立熊野第四小学校 教諭 井上 努

- 1 日 時 令和2年11月6日(金)～18日(水)
- 2 学 年 第5学年 56名(1組28名, 2組28名)
- 3 場 所 5年1組教室, 5年2組教室
- 4 小単元名 「工業生産を支える輸送と貿易」 ～貿易の“ひみつ”を解き明かそう!～
- 5 小単元の目標 貿易や運輸は工業生産にとって重要な役割を果たしていることを理解し、説明することができる。
- 6 研修テーマ 社会的事象の相互の関連を考察する力を育成する小学校社会科の指導と評価の工夫
ー 様々な情報を関連付けて、社会的事象の意味を考える評価問題の開発を起点として ー
- 7 研修テーマとのかかわり 児童に育成したい力を明確にし、評価問題を作成する。そこを起点に単元を構成していく。児童がもっている貿易についての概念に対して、児童のもつ概念では説明ができない新たな事象を提示することで、児童の概念を変革的に成長させることができる。
- 8 小単元について
(1) 小単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)における社会科第5学年の内容(3)に基づき設定した。学習指導要領には、以下のように示されている。

- (3) 我が国の工業生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
 - (ウ) 貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解すること。
 - (エ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 - (ウ) 交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現すること。

本単元は、「我が国の工業生産」の内容に区分される、貿易や運輸の役割に関する内容である。貿易や運輸が、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解させるとともに、それらの役割について表現できるようにすることをねらいとしている。小学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編の第1章総説2社会科改訂の趣旨及び要点(2)改訂の要点②内容構成の改善〔第5学年の内容〕の中に「また、『貿易や運輸』を独立して示し、それらが工業生産を支える役割を考えるようにした」とあり、貿易や運輸が従前の学習指導要領よりも重視されていることがうかがえる。貿易や運輸は、児童が日常生活において着目することが少ないように思われるが、具体的な事例を通して、交通網の広がり、外国との関わりなどに着目させ、貿易や運輸の様子を捉えさせ、それらの役割を考えさせることができる単元である。具体的な事例として、広島空港をはじめとする県内の運輸に関わる施設、県内の食品工業の企業(カルビー)と原料の運搬船(ポテト丸)、県内の建設機械の企業(コベルコ)、県内に店舗をもつ多国籍企業の小売店(コストコ)、海田町内で整備が進められているバイオマス発電について扱う。これらの事例をICTを効果的に活用し児童に提示することで、児童が身近な事例として関心をもって学習に取り組むことが期待される。また、貿易や運輸に関する学習は、今後小学校及び中学校で扱う。本単元で貿易や運輸の基本的な部分について児童が理解を深めることが、以降の学習において有用であると考えられる。

現在、グローバル化の進行、多国籍企業の台頭、途上国の経済発展等により、貿易の様子も以前に比べ複雑に変容しつつあるが、19世紀にイギリスのリカードによって明らかにされた比較生産費説とよばれる理論が、現在でも貿易自由化の根拠となっている(高等学校政治経済教科書『最新政治・経済』(実教出版)参照)。それは、貿易では自国にないものを各国が取引するだけでなく、自国内で生産費が相対的に安価な財の生産に各国が特化し、自由に貿易を行うことで、それぞれの国に利益がもたらされるという比較優位の考え方に基づいて現代の貿易が行われているということである。このことが、『新しい社会科5下』(東京書籍)には、次のように書かれている。

以前は、主に貿易に使うための燃料や原料を多く輸入していました。しかし、今ではそれに加えて、多くの工業製品が輸入されています。

輸入とは「自国に不足しているものを外国から買うことである」と考えている児童は、「工業がさかんな日本が、どうして外国から工業製品を輸入しているのか」と考えることが予想される。この事象は、比較生産費説に基づけば、容易に説明がつく。

自由貿易の下では、国際分業が行われている。それは、先進国どうしが工業製品を互いに輸出しあう水平貿易、途上国が一次産品を、先進国が工業製品を輸出する垂直貿易と言われている。これら分業の形態が、多国籍企業の台頭等により変容しつつある。多国籍企業の途上国への進出と途上国の工業化にともない、先進国と途上国の貿易も水平貿易化が進んでいる。また、多国籍企業の本社と在外子会社間の企業内貿易が増加し、世界貿易の三分の一を占めている。このような多国籍企業の影響について、具体的な事例を通して学習することができる。

このように、貿易に関する児童の身の周りの社会的事象の大部分は、多国籍企業の影響を大きく受けている現在の自由貿易の在り方によって説明できると考える。また、第6学年では関税など保護貿易に関する内容や、国際連合を中心とした貿易の在り方についても扱う。貿易の基本的な部分について、本単元で児童にしっかりと習得させたい。

(2) 児童観

本学年は、男子 26 名、女子 30 名である。以下の表は、平成 31 年度の 3 学期に実施した標準学力調査の結果である。

観点	正答率(学年) %	正答率(全国) %
1. 社会的な思考・判断・表現	68.6	70.1
2. 観察・資料活用 of 技能	71.8	70.4
3. 社会的事象についての知識・理解	72.0	70.1

この結果から、観察・資料活用 of 技能や社会的事象の知識・理解については全国の正答率を上回っていて、一定の基礎学力は定着している様子が伺える。課題としては、社会的な思考・判断・表現が全国平均と比較してやや低い。誤答分析から、本学年児童は社会的事象の相互の関連を考察する力が十分ではないと推測した。それゆえ、本学年の児童は、資料を基に事象間のつながりや関わりを考えるのは苦手であるということが言える。

質問項目	している またはまあまあ している	していない またはあまり していない
①社会科の授業中に、資料(グラフや表など)をもとに、「なぜだろう。」と考えながら学習していますか。	80.4	17.9 *未記入1.8
②社会科の授業で2つの資料(グラフや表など)が示されたとき、「どのような関係があるのかな。」と考えながら学習していますか。	85.7	12.5 *未記入1.8
③社会科の授業で2つの資料(グラフや表など)が示されたとき、二つを見比べながら学習していますか。	83.9	12.5 *未記入3.6

上の表は、令和2年度の1学期に実施した、児童質問紙調査の結果である。児童の80%以上が、資料を基に事象間のつながりや関わりを意欲的に考えている様子が、一定程度確認できた。

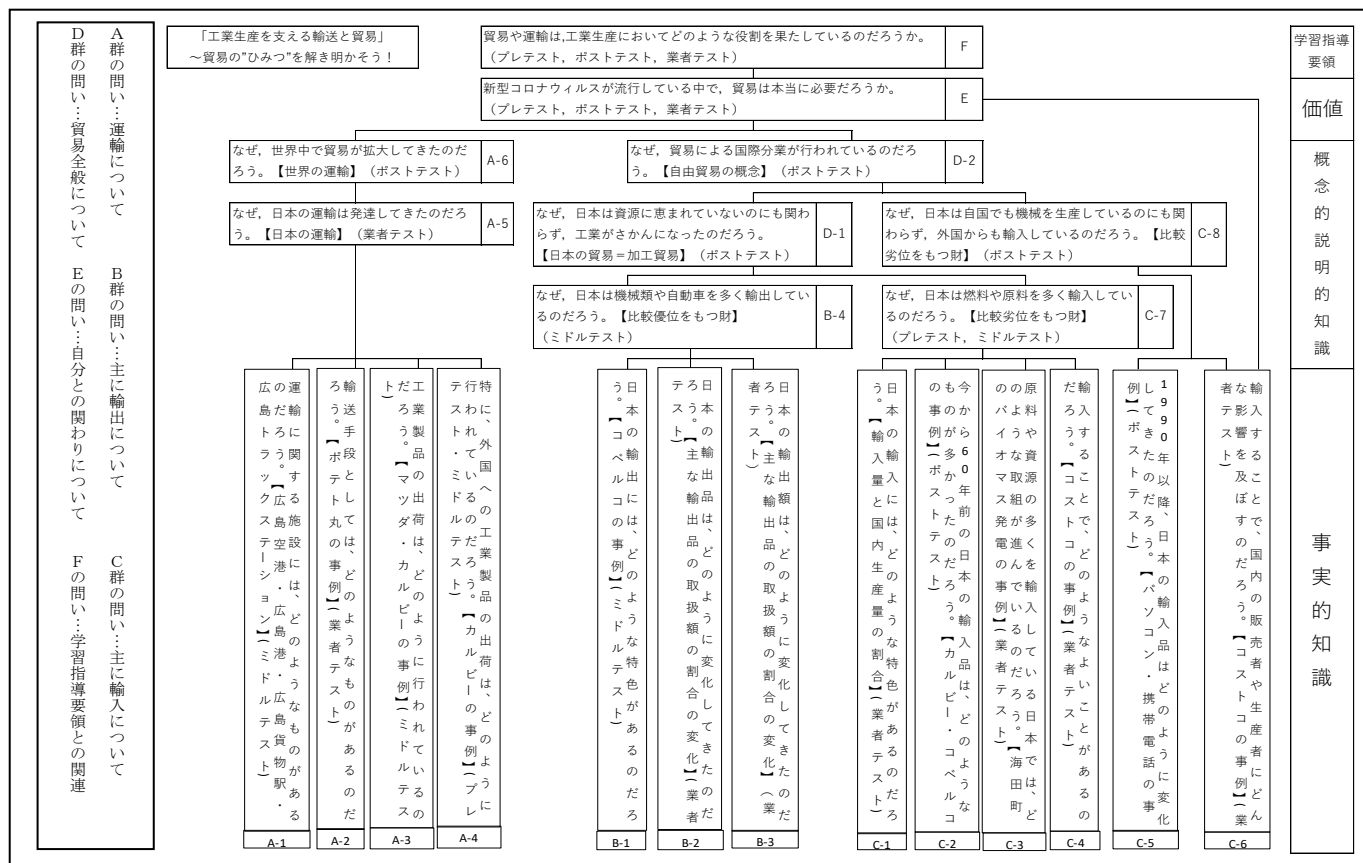
(3) 指導観

指導にあたって、資料を基に事象間のつながりや関わりを考えることに、児童は意欲的に取り組んでいるが苦手であるということから、問いの工夫を行う。問いを①児童が個別の知識を習得するための問い、②児童が事象間の関連を考察するための問い、③児童が自己と実社会との関連を考え、価値判断するための問いの三種類に分類し、資料を基に事象間のつながりや関わりを考えさせ、説明させるようにする。児童が、個別の社会的事象の知識の習得に終始する授業から脱却し、複数の社会的事象の相互の関連を説明できるようにする授業への変革を図りたい。

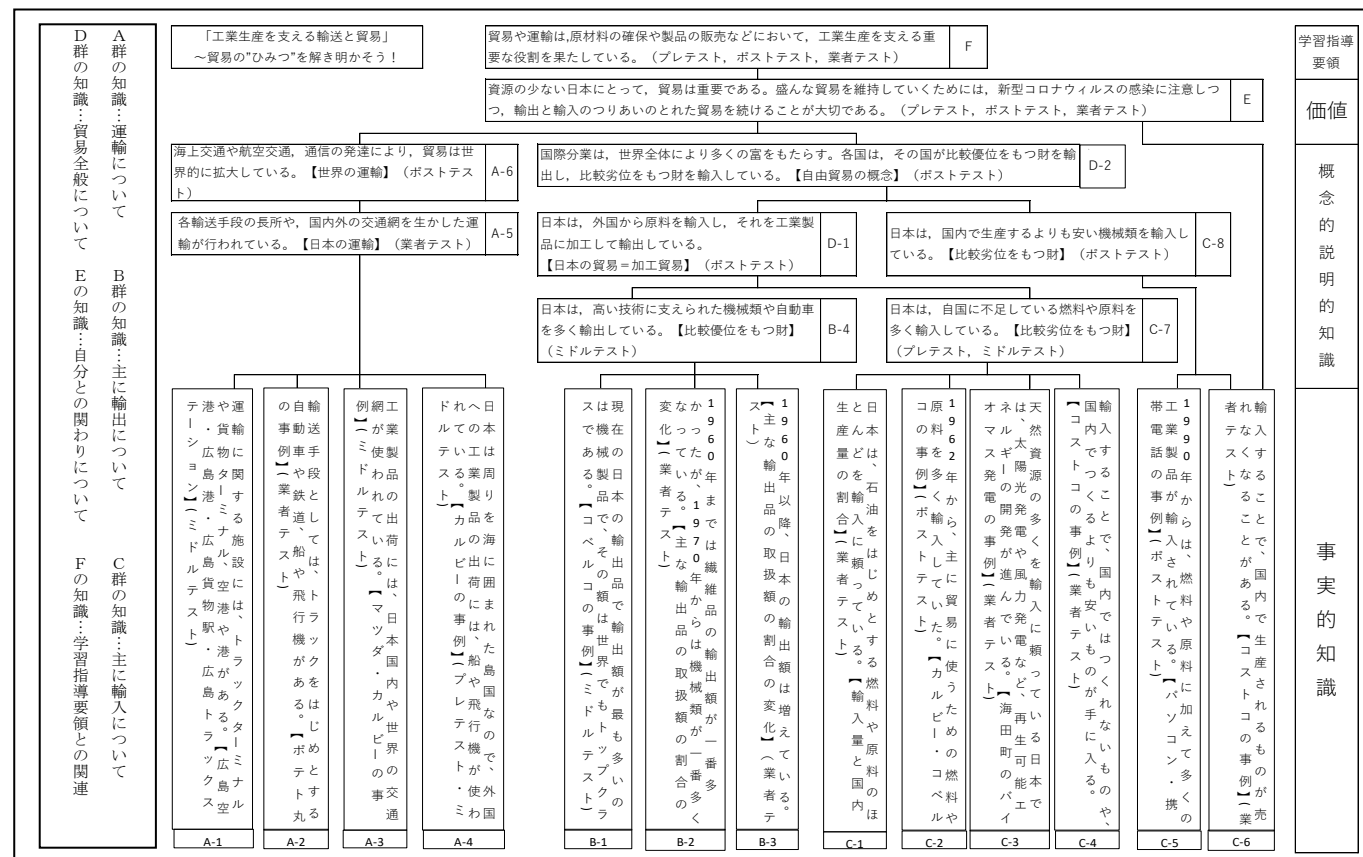
また、児童に一度概念を習得させた後で、新たな問題として、社会的事象を児童に出合わせる。このことによって、児童がこれまでに知っていることや思い込んでいることでは説明できない事態をつくる工夫を行う。この学習過程を通じて、一つの社会的事象に関する個別の知識のみの習得だけではなく、複数の社会的事象の相互の関係を考察する力の育成を図りたい。

平成31年度の標準学力調査では、第6学年の児童の「不平等条約の改正について、複数の資料を基に考え、表現することができる」ことをねらって出題された問題の正答率が、全国平均より21.4%下回っていた。原因の一つとして、関税をかけないとどのようなことが起こるのかということについての児童の理解が十分でなかったことが考えられる。これは、自由貿易に相反する考え方である保護貿易に関する内容である。このような誤答を防ぐという意味でも、本学年で自由貿易に関する基本的な考え方を児童にしっかりと身に付けさせたい。

(4) 問いと知識の構造図



問いの構造図



知識の構造図

9 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 交通網の広がり、外国との関わりなどについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、貿易や運輸の様子を理解している。 ② 調べたことを文章にまとめ、貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。	① 交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、問いを見出し、貿易や運輸の様子について考え表現している。 ② 貿易や運輸と工業生産を関連付けて、貿易や運輸が工業生産に果たす役割を考えたり、学習したことを基にこれからの貿易の発展について自分の考えをまとめたりして、適切に表現している。	① 貿易や運輸について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 学習したことを基に、これからの運輸や貿易の発展について考えようとしている。

10 指導計画（全5時間）

時間	ねらい	○主な学習活動 ・ 内容	□資料	評価方法と【評価規準】
1	輸送と貿易について話し合い、学習問題をつくることができるようにする。	○輸送と貿易について話し合い、学習問題をつくる。 ・ 新型コロナウイルス ・ 広島県工業クイズ ・ 貿易と輸送 ・ 学習問題の設定	□ 数字を書いたボード □ グーグルアースの映像 □ 写真「製鉄所、食品工場、ポテト丸、100円ショップ」 □ ポテトチップス □ 100円ショップの商品	発言やノート の記述内容から「交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、問いを見いだしているか」を評価する。【思－①】
		貿易や輸送の“ひみつ”を見つけよう！		
		* 学びのプラン * プレテスト		
2	資料を活用し、工場で作られた工業製品が運ばれている様子を調べることができるようにする。	○ 交通網の広がりについて、地図帳や各種の資料で調べる。 ・ 輸送手段や施設 ・ 交通網の広がり ・ 輸送手段の特徴	□ 地図「京浜トラックターミナルのまわり」 □ グーグルアースの映像 □ グラフ「貨物輸送の変化」 □ 写真「トラックターミナル、貨物列車、港、貨物用の航空機」 □ 地図「日本の主な交通もう」 □ 資料「輸送手段の特徴」	ノートの記述内容から「交通網の広がりについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、運輸の様子を理解しているか」を評価する。【知－①】
3	資料を活用し、日本の輸出の特色について調べることができるようにする。	○ 日本の輸出の特色について、地図帳や各種の資料で調べる。 ・ 主な輸出品の輸出相手国 ・ 日本の輸出の変化 ・ 現地生産	□ 図「主な輸出品の輸出相手国」 □ グラフ「主な輸出品の取りあつかい額のわりあいの変化」 □ 写真「輸送船」、「クレーン」 □ 資料「コベルコ建機の方の話」 □ 地図「日本の自動車会社の組み立て工場と主な部品工場」	ノートの記述内容から、「貿易について予想を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしているか」を評価する。【態－①】
4	資料を活用し、日本の輸入の特色について調べることができるようにする。	○ 日本の輸入の特色について、地図帳や各種の資料で調べる。 ・ 主な輸入品の輸出相手国 ・ 日本の輸入の変化 ・ 再生可能エネルギーの開発 * ミドルテスト	□ 図「主な輸入品の輸入相手国」 □ グラフ「輸入量と国内生産量のわりあい」 □ グラフ「主な輸出品の取りあつかい額のわりあいの変化」 □ 写真「海田町のバイオマス発電」	発言やノート の記述内容から、「貿易や運輸と工業生産を関連付けて考え、貿易や運輸の役割を適切に表現しているか」を評価する。【思－②】
5	調べたことをもとに、学習問題について文章にまとめることができるようにする。	○ 運輸や貿易について考えたことを文章にまとめる。 ・ 機械類の輸入 ・ 輸入の効果と問題点 ・ 単元の学習の振り返り * ポストテスト・事後アンケート	□ 図「既習事項」 □ グラフ「パソコンやスマートフォン」の国別生産台数の割合 □ グラフ「米作りにかかる費用の例」	ノートの記述内容から、「貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支

できるよう にする。	ート			える重要な役割を果たしていることを理解しているか」を評価する。 【知－②】 ノートの記述内容から、「学習したことを基に、これからの貿易の発展について自分の考えをまとめ、適切に表現しているか」を評価する。 【思－②】 ノートの記述内容から、「学習したことを基に、これからの運輸や貿易の発展について考えようとしている」を評価する。 【態－②】
---------------	----	---	--	---

学習過程【学習問題をつかむ】 1 時【学習問題を追究する】 2・3・4 時【まとめる】 5 時

11 本時の展開（第 1 時）

（1）本時の目標

交通網の広がり，外国との関わりなどに着目して，学習問題をつくることができる。

（2）学習の展開

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応（習得させたい知識）と評価（★）
導入	1. 既習内容と本時の学習内容に触れる。 ○前の時間までに，どんなことを学習していましたか。 ○広島県には，自動車工業以外にも盛んな工業がたくさんあります。 2. 本時のめあてを確認する。 ○今日はクイズを通して，学習問題を作りましょう。	T：発問する P：答える T：説明する		・自動車工業について学習していました。
	④ “なぜ見つけ”をして，学習問題をつくろう。			
展開	3. 新型コロナウイルスについて考える。 ○4000 万人，この数字は何を表しているでしょう。 ①カナダの人口 ②第二次世界大戦で亡くなった人数 ③新型コロナウイルスに感染した人数 ○正解は③です。ちなみに，①は 3700 万人くらい，②は 5000 万人以上だと言われています。 ○中国で発生した新型コロナウイルスが，世界中に広がりましたよね。どうしてだと思いますか。 ○そうですね。人の移動が関係していますよね。そういったことも，今日から学習していきますね。	T：発問する P：答える	数字を書いたボード	・なんだろう。最近の出来事のコロナかな。 ・そんなにたくさんの人が感染したんだね。 ・中国の人が他の国に行ったから。 ・中国だけでなく，世界中の人が移動しているから。

4. 広島県工業クイズをする。 ○ここからは広島県工業クイズです。第1問、これは何を作っている工場でしょう。 ○これは、鉄を作っている工場です。鉄の原料は鉄鉱石といいます。外国から輸入しています。 ○何か疑問に思ったことはありませんか。 ○いい質問ですね。これらのことについて、これから学習していきます。 ○第2問、これは何を作っている工場でしょう。 ○そうですね。カルビーの工場ですね。ここでは、どんな工業製品を作っていますか。 ○そうですね。ポテトチップスの原料は何ですか。 ○そうですね。原料のジャガイモは、どのようにして手に入れていると思いますか。 ○この写真を見てください。この船は「ポテト丸」といって、北海道からジャガイモを運んでいます。 ○何か疑問に思ったことはありませんか。 ○いい質問ですね。これらのことについて、これから学習していきます。 ○第3問、これはどこでしょう。 ○そうですね。ここは100円ショップのダイソーの本社です。 ○これらが100円ショップから買ってきた工業製品です。中国やベトナムで作られています。 ○何か疑問に思ったことはありませんか。 ○いい質問ですね。これらのことについて、これから学習していきます。 5. 貿易と輸送について整理し、学習問題をつくる。 ○貿易と輸送について確認しましょう。 ○輸送手段としては、どのようなものがありましたか。	T：発問する P：答える T：発問する P：答える T：発問する P：答える T：発問する P：答える	グーグルアースの映像と写真（福山市の製鉄所） グーグルアースの映像と写真（廿日市市の食品工場） ポテトチップス 写真（ポテト丸） グーグルアースの映像（東広島市の100円ショップの本社） 写真（広島市の100円ショップ） 100円ショップの商品	・何だろう。海の近くにあるね。 ・すごく広いね。 ・船が止まっているね。 ・鉄かな。 ・なぜ、海の近くに工場があるのだろう。 ・なぜ建物が赤く見えるのだろう。 ・なぜ鉄鉱石を輸入しているのだろう。 ・海の近くにあるね。 ・カルビーってかいてあるから・・・。 ・ポテトチップス ・ジャガイモ ・広島県で農業をやっている人から買っている。 ・外国から輸入している。 ・ジャガイモは北海道が有名だよ。 ・なぜ北海道から運んでいるのだろう。 ・なぜ船で運ぶのだろう。 ・ポテト丸という名前がついているのはどうしてだろう。 ・何か普通の工場みたい。 ・どこだろう。 ・漢字で大創って書いてあるからひょっとして・・・。 ・なぜ外国で作られているのだろう。 ・輸送方法はどのようにになっているのだろう。 ・写真に写っている、後ろの建物は何だろう。 ・トラック、飛行機、船、鉄道です。
--	---	--	---

	〔問いと知識の構造図 A-2〕 ○今日みなさんから出た疑問の多くが、貿易や輸送に関するものでしたね。ここから、学習問題を作りましょう。 ○貿易や輸送の“ひみつ”を、みんなで見つけていきましょう。			・ポテト丸で、どのように輸送しているのだろう。 ・日本はどのように貿易をしているのだろう。 ・貿易や輸送には、何か“ひみつ”があるのだろうか。 ★交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、学習問題をつくることができる。【思－①】（発言・ノート）
終結	6. 本時の学習をまとめる。 学習問題貿易や輸送の“ひみつ”を見つけよう！ ○ところで、「ポテト丸」は輸送ですか、貿易ですか。 ○100 円ショップの商品を外国から日本に運ぶのは貿易ですか、違いますか。 ○また、そのあたりも学習していきましょう。 ○今、新型コロナウイルスが流行していますよね。そのような中で、貿易を続けていて本当によいのだろうか、ということについても考えていけたらと思います。 〔問いと知識の構造図の E〕 7. 振り返りを書く。	T：発問する P：答える	・国内の移動だから・・・。 ・これって貿易なのかな。	 ポテト丸 https://stat.ameba.jp/user_images/20200823/12/rhj08/f0/b9/j/o3727161514808438936.jpg

(3) 板書計画

④ 貿易や輸送について、学習問題をつくろう。	学習問題 貿易や輸送の“ひみつ”を見つけよう！
広島県の工業 写真 福山市の 製鉄所 (JFE スチール) 写真 廿日市市の 食品工場 (カルビー) 写真 ポテト丸 写真 東広島市の 100 円 ショップの本社 (ダイソー) 鉄鉱石を輸入 ジャガイモを船で輸送 工業製品を中国やベトナムで製造	
ギモン ・なぜ海の近く ・なぜ建物が赤い ・なぜ鉄鉱石を輸入 ・なぜ北海道 ・なぜ船 ・名前の由来 ・なぜ外国で ・輸送方法は ・うしろの建物は 輸送手段…トラック、船、鉄道、飛行機 貿易…外国とものやサービスを売り買いすること。 輸出…外国に商品などを売ること。 輸入…外国から商品などを買うこと。	振り返り

12 本時の展開（第 2 時）

(1) 本時の目標

運輸の様子について理解することができる。

(2) 学習の展開

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応（習得させたい知識）と評価（★）
導入	1. 学習問題を確認し、「運輸」について知る。 2. 本時のめあてを確認する。	T：説明する		

④ 運輸の“ひみつ”を見つけよう。				
展開	3. 運輸に関する施設について調べる。 ○場所さがしゲーム ○教科書の 38 ページを見て、次の施設を探してみよう。 ・京浜トラックターミナル ・東京貨物ターミナル ・大井埠頭、青海埠頭 ・東京国際空港 ○グーグルアースで確認してみよう。 ○広島県にも、同じような施設があるのでしょうか。グーグルアースで見よう。 ・トラックターミナル ・貨物ターミナル ・広島港 ・広島空港 ○どんな輸送に関わる施設がありましたか。 [問いと知識の構造図 A-1] ○輸送手段には、どのようなものがありましたか。 4. 交通網について調べる。 ○トラック、鉄道、船、飛行機の中で、輸送量が一番多いのは何だと思いますか。 ○教科書の 38 ページのグラフで確認しましょう。 ○どうして、自動車での輸送がこんなに増えたと思いますか。 [問いと知識の構造図 A-3] ○ちなみに、日本で初めて高速道路ができたのは 1963 年らしいですよ。 ○教科書の 39 ページの地図を見てください。 ○船が通る“道”はありますか。 ○ポテト丸も・・・。 ○道が網の目のようになっているという意味で、「交通網」と	T：発問する P：教科書で調べる 答える <		

運輸…トラックをはじめとする自動車、 船、鉄道、飛行機を使って、人や ものを運ぶこと。	振り返り
---	------

13 本時の展開（第3時）

（1）本時の目標

日本の輸出の特色について、意欲的に追究することができる。

（2）学習の展開

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応（習得させたい知識）と評価（★）
導入	1. 学習問題を確認する。 2. 本時のめあてを確認する。			
	(め) 日本の輸出の特色について、調べることができる。			
展開	3. 主な輸出品の相手国について調べる。 ○日本は、どこの国にどんなものを輸出していますか。 ○つまり、まとめると、日本はどんなものを輸出していると言えますか。 〔問いと知識の構造図 B-1〕 4. 日本の輸出品の変化について調べる。 ○日本からの輸出品は、どのように変化してきたのでしょうか。 〔問いと知識の構造図 B-2, B-3〕 5. コベルコ建機について調べる。 ○なぜ、日本は機械類の輸出が多いと思いますか。予想して、それを班で交流しましょう。 ○コベルコ建機の製品は、なぜ世界に輸出されていると思いますか。資料から考えましょう。 〔問いと知識の構造図 B-4〕 6. 現地生産について確認する。 ○教科書 43 ページの地図から、どんなことが分かりますか。	T：発問する P：調べる 答える T：発問する P：調べる 答える T：発問する P：調べる 答える T：発問する P：調べる 答える	図「主な輸出品の輸出相手国」 グラフ「主な輸出品の取りあつかい額のわりあいの変化」 写真「輸送船」, 「クレーン」 資料「コベルコ建機の方のお話」 地図「日本の自動車会社の組み立て工場と主な部品工場」	・オーストラリアには、自動車を多く輸出しているね。 ・中国には、自動車と集積回路を多く輸出しているよ。 ・アメリカには、自動車、精密機械、鉄鋼、集積回路、コンピュータを輸出しているよ。 ・機械が多いです。 ・1960 年には繊維品が一番多かったね。 ・1970 年からは機械類が一番多くなっているよ。 ・取扱額は、年々増えているよ。 ★日本の輸出の特色について、意欲的に追究している。【態-①】(ノート) ・日本の技術力が高いから。 ・日本には機械メーカーが多いから。 ・日本人が機械を多く作るようになったから。 ・性能がよいから。 ・世界でも信頼されているから。 ・自動車工場が、いくつもの国にあるね。 ・日本の会社が現地生産をしているよ。
終結	7. 本時の学習をまとめる。			
	(ま) 日本は、高い技術に支えられた製品を海外に輸出している。また、輸出するだけでなく、現地生産も増えている。			
	8. 振り返りを書く。			

(3) 板書計画

㊦ 日本の輸出の特色について、調べることができる。		㊦ 日本は、高い技術力に支えられた製品を海外に輸出している。また、輸出するだけでなく、現地生産も増えている。	
図 「主な輸出品の輸出相手国」	グラフ 「主な輸出品の取りあつかい額のわりあいの変化」	写真 輸送船	写真 クレーン
輸出品…機械製品 自動車 鉄鋼 集積回路 高い技術力	1960年 → 2016年 せんい品 → 機械類 取りあつかい額の増加	せいのうがよい ← 高い技術力 世界の国からの信頼 現地生産 → 世界との結びつき 振り返り	

14 本時の展開（第4時）

(1) 本時の目標

日本の輸入の特色について、輸出と関連付けて考え、説明することができる。

(2) 学習の展開

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応（習得させたい知識）と評価（★）
導入	1. 学習問題を確認する。 2. 本時のめあてを確認する。			
	㊦ 日本の輸入の特色について、調べることができる。			
展開	3. 主な輸入品の相手国について調べる。 ○日本は、どこの国からどんなものを輸入していますか。 〔問いと知識の構造図 C-1〕 ○つまり、まとめると、日本はどんなものを輸出していると言えますか。 〔問いと知識の構造図 C-7〕 ○燃料をどのくらい輸入していますか。 ○なぜ原料や燃料を輸入しているのですか。 ○日本はどのような貿易をしていますか。班で話し合ったことを全体で交流しましょう。 〔問いと知識の構造図 D-1〕 ○カルビーだと・・・。 ○コベルコだと・・・。 4. 日本の輸入品の変化について調べる。 ○日本の輸入品は、どのように変化してきたのでしょうか。	T：発問する P：調べる 答える T：発問する P：調べる	図「主な輸入品の輸入相手国」 グラフ「輸入量と国内生産量のわりあい」 グラフ「主な輸出品の取	・石油を、サウジアラビアやアラブ首長国連邦から輸入しているね。 ・鉄鉱石を、オーストラリアやブラジルから輸入しているよ。 ・アメリカからは、木材や小麦を輸入しているね。 ・原料や、燃料、あとは食料です。 ・鉄鉱石は 100%で、他のものもほとんど輸入しています。 ・工業製品を作ったり発電をしたりするのに必要だからです。 ・外国から原料を輸入して、工場で製品を作り、それをまた外国に輸出しています。 ★日本の輸入の特色について、輸出と関連付けて考え、説明している。【思－②】（発言、ノート） ・じゃがいもの一部をアメリカから輸入していました。 ・鉄の原料を外国から輸入していると思う。 ・1962年には、燃料が一番多かったのだね。

	〔問いと知識の構造図 C-2, C-5〕 ○本当ですね。次の時間にみんなで考えてみましょう。 ○なぜ、世界中で貿易が拡大してきたと思いますか。 〔問いと知識の構造図 A-6〕 5. これからの社会に向けて大切なことを考える。 ○原料や資源の多くを輸入している日本では、今後どんなことが大切になってくるでしょうか。 〔問いと知識の構造図 C-3〕 ○広島県でも、海田町にバイオマス発電の施設を建設中です。	答える T：発問する P：答える	りあつかい額のわりあいの変化」 写真「海田町のバイオマス発電」	・1970 年からは、機械類が一番多くなっているね。 ・どうして日本は機械をたくさん輸入しているのだろう。 ・運輸の働きが関係していると思うな。 ・世界の国と仲良くしないと、輸入してもらえなくなったら困る。 ・石炭を使う火力発電ではなく、太陽光発電や風力発電に変えていく。
終結	6. 本時の学習をまとめる。 ㊦ 日本は、工業製品に必要な燃料や原料だけでなく、多くの工業製品を輸入している。 7. 振り返りを書く。			

(3) 板書計画

㊥ 日本の輸入の特色について、調べることができる。 図 「主な輸入品の輸入相手国」	グラフ 「主な輸入品の取りあつかい額のわりあいの変化」	㊦ 日本は、工業生産に必要な燃料や原料だけでなく、多くの工業製品を輸入している。
輸出品…燃料 石油 工業生産、発電 原料 木材 ↓ 食料 小麦 輸出 日本の貿易の特ちょう ①原材料や燃料を輸入 ②工場で原材料を工業製品に加工 ③外国に工業製品を輸出	1962 年 → 2016 年 機械類の輸入の増加	グラフ 「輸入量と国内生産量のわりあい」 ほとんどを輸入にたよっている 世界との結びつきを大切にする 再生可能エネルギーの開発 写真 「バイオマス発電」 日本はなぜ、多くの工業製品を輸入しているのだろう。

15 本時の展開 (第5時)

(1) 本時の目標

貿易が行われている理由ついて、文章にまとめることができる。

(2) 学習の展開

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応 (習得させたい知識) と評価 (★)
導入	1. 既習事項を確認する。 ○みなさんが今までの学習で見つけた貿易の“ひみつ”は、どのようなものでしたか。 ○そうでしたよね。でも、実はもう一つ“ひみつ”があ	T：資料提示 発問する	図「既習事項」	・貿易は、おたがいの国が足りないものを手に入れるために行われるということです。

	るのです。 2. 本時のめあてを確認する。			
	④ 貿易の“ひみつ”を見つけよう。			
	3. 日本の輸出の特徴を確認する。 ○日本はどういうものを輸出していましたか。 ○機械は、日本にとってどんなものでしたか。 4. 日本の輸入の特徴を確認する。 ○日本はどういうものを輸入していましたか。 ○それらは日本にとって、どういったものでしたか。	T: 発問する P: 答える T: 発問する P: 答える	図「既習事項」	・機械などです。 ・日本の高い技術を生かすことのできる、日本にとっての得意分野だと思うな。 ・燃料や食料、あとは機械類です。 ・燃料も食料も、日本にはないものです。機械は・・・。 ・機械は日本にあるはずなのに、なぜ輸入しているの
	問日本には高い技術力があるのに、なぜ機械類を多く輸入しているのだろ			
展開	5. 機械類の輸入について考える。 ○みなさんはどう思いますか。班の人と意見交換してみましょう。 ○機械類とありますが、具体的にはどんなものを輸入していると思いますか。 ○資料で調べてみましょう。 ○これは、パソコンや携帯電話を生産している国を示した帯グラフです。 ○なぜ、中国の生産量がこれほど多いのでしょうか。 ○ものを作るときに何に一番お金がかかっているのか、覚えていますか。 ○これは、2015年の日本と中国の人件費の比較の表です。 ○日本はなぜ、中国から機械を輸入しているのでしょうか。班で話し合ってみましょう。 ○中国から輸入することで、おたがいの国にとってどんなよいことがありますか。 〔問いと知識の構造図 C-8〕 ○貿易の“ひみつ②”が分かりましたか。ノートに書いてみましょう。 ○携帯電話などは日本よりも外国の方が・・・。 ○日本の中で比べたら、自動	T: 発問する P: 答える	表「機械類の輸入上位3項目」, 「機械類の輸出上位3項目」 グラフ「パソコンやスマートフォンの国別生産台数の割合」 グラフ「米作りにかかる費用の例」 表「日本と中国の人件費の比較」	・外国から買った方が安いのかな。 ・機械には、色々な種類があるよね。 ・何だろう。日本にない機械かな。 ・電話やコンピューターを多く輸入しているんだね。 ・輸入も輸出も、中国と多くしているね。 ・どちらも中国で大部分生産されているね。 ・中国の技術が高いからかな。 ・原料がたくさんあるのかな。 ・安く作れるのかな。 ・人件費、人に払うお金だったと思います。 ・中国は日本に比べ、人件費がずいぶん安いね。 ・人件費が安いと、製品の値段も安くすることができるね。 ・だから中国から輸入しているのかな。 ・日本は、安い品物が買えるよね。 ・中国では、仕事が増えるよね。 ・工業も発展するのではないかな。 ★貿易が行われている理由について、文章にまとめることができる。【知-②】(ノート) ・外国の方が安く作れます。 ・自動車の方が、より得意な分

	車と携帯電話では・・・。 ○つまり、日本は得意なものを輸出して、どんなものを輸入していますか。 〔問いと知識の構造図 D-2〕 ○そうですね。これって、日本だけのことですか。 6. 輸入について ○広島市に、グループ全体で世界第2位の売り上げをあげているお店があります。どこか分かりますか。 ○実は、アメリカに本社のあるコストコというお店です。 ○ここでは、外国から輸入された製品がたくさん売られています。輸入をすることで、お客さんにとってどんないいことがあると思いますか。 〔問いと知識の構造図 C-4〕 ○お客さんにとってはよいのですがお店の人や製品をつくっている会社にとってはどうでしょう。 〔問いと知識の構造図 C-6〕 ○だから輸入ばかりするのは・・・。 ○逆に、日本が輸出ばかりしていたら、相手の国では・・・。 7. 工業生産との関わり ○貿易や運輸は、工業生産においてどんな役割を果たしていると思いますか。 〔問いと知識の構造図 F〕	T: 発問する P: 答える	写真「広島市内の小売店」	野だと思えます。 ・日本にないものや、日本にとってそれほど得意でないものを輸入していると思います。 ・他の国でも言えると思います。 ・イオンかな。 ・セブンイレブン。外国にもありそう。 ・あ、知ってる。 ・知らない。 ・マツダスタジアムの横にあるよ。 ・日本にないものや安いものが手に入る。 ・他のお店の客が減ってしまう。 ・日本で作られたものが売れなくなる。 ・あまりよくないかも。 ・同じように、困る人が出てくるかも。 ・日本には原料があまりないから、輸入が工業にとって大切だね。 ・製品を運ぶときには、運輸のはたらきが欠かせないね。 ★学習したことを基に、これからの貿易の発展について自分の考えをまとめ、適切に表現している。【思-②】(ノート) ★学習したことを基に、これからの運輸や貿易の発展について考えようとしている。【態-②】(ノート)
終結	8. 本時の学習をまとめる。 ㊦ 貿易では、その国の得意なものが輸出され、あまり得意でないものが輸入されている。 9. 振り返りを書く。 〔問いと知識の構造図 E〕			



(3) 板書計画

㊦ 貿易の“ひみつ”を見つけよ				㊧ 貿易では、その国の得意なものが輸出され、あまり得意でないものが輸入されている。	
貿易 おたがいの国が足りないものを手に入れるため。(ひみつ①)	輸出品 機械類 高い技術力	グラフ 「パソコンやスマートフォン」の国別生産台数の割合	グラフ 「米作りにかかる費用の例」	表 「日本と中国の 人件費の比較」	
	輸入品 機械類 ? 燃料 足りていない 原材料 足りていない	機械類の輸出上位3項目 1. 自動車、部品 (アメリカ) 2. IC (集積回路) (中国) 3. 精密機械 (中国)		日本…安い品物が手に入る 中国…仕事が増える 工業が発展	
問い 日本には高い技術力があるのに、なぜ機械類を多く輸入しているのか。		機械類の輸入上位3項目 1. 電話 (中国) 2. コンピューター、部品 (中国) 3. IC (集積回路) (台湾)		貿易 おたがいの国がより豊かになるため	
予想 ・外国で作った方が安い ・機械の種類によってちがう		写真 「広島市内の小売店」			

16 参考文献

- ・ 迫有香(2017):「グローバル社会の見方・考え方の育成:資質・能力の3つの柱と3つの見方・考え方の育成の視点から考える授業づくり」『教育科学 社会科教育12月号』明治図書出版
- ・ 迫有香(2010):「他地域との結びつきを核とした考察:中国・四国地方」草原研究室教材ライブラリー<https://home.hiroshima-u.ac.jp/kusahara/2008video/akashiohashi.html> (最終参照:令和2年7月30日)
- ・ 迫有香・中村光則・丸川晋一・石原修:「『防災』を事例とした小中学校社会科・高等学校地理歴史科『地理総合』における単元開発―教科固有の系統的な学習と教科横断的な学習の往還を目指して―」広島県立教育センターHP
http://www.hiroshima-c.ed.jp/jp/pdf/research/shoin/r01_102.pdf (最終参照:令和2年7月30日)
- ・ 原田智仁編著(2020):『社会科教育のルネサンス―実践知を求めて―』教育情報出版
- ・ 森分孝治(1984):『現代社会科授業理論』明治図書
- ・ 森分孝治(1997):「社会科における思考力育成の基本原則―形式主義・活動主義的偏向の克服のために―」全国社会科教育学会『社会科研究』第47号
- ・ 峯明秀(2011):『社会科授業改善の方法論改革研究』風間書房
- ・ 峯明秀(2014):「社会科の学力評価論の批判的検討―学習の事実に基づく授業改善研究の必要性―」全国社会科教育学会『社会科研究』第80号
- ・ 峯明秀編著(2017):『対話的深い学びを測る新授業の評価新中学社会の定期テスト』学芸みらい社
- ・ 社会認識教育学会編(2019):『小学校社会科教育』学術図書出版社
- ・ P.R.クルーグマン, M.オブズフェルド(2010):『クルーグマンの国際経済学―理論と政策―』ピアソン桐原
- ・ 矢野恒太記念会(2020):『日本国勢図会2020/21年版』矢野恒太記念会
- ・ こどもくらぶ編纂(2015):『見学!日本の大企業カルビー』ほるぷ出版
- ・ 山田清機, 一柳正紀, 山口敦(平成20年):『JFEスチール』出版文化社
- ・ 大下英治(令和2年):『百円の男 ダイソーの矢野博丈』詳伝社
- ・ 早川明夫監修(2018):『黄門様の社会科クイズ⑥地理・工業と貿易の旅』国土社